

1 食の拠点づくり構想について

- (1) 風力発電の想定発電量と施設内必要電力量とのバランスを伺います。  
又、夜間等施設が営業していない時の発電施設の利用方法を伺います。  
併せて、飲食販売施設屋根や敷地内への太陽光発電設備設置等、余剰敷地の有効利用の見解を伺います。
- (2) 年間売り上げを 8 千万円程度と見込んでいますが、その算出根拠及び未達成時の対策を伺います。
- (3) 農林水産物等の販売機会を増やすとありますが、どのような形での販売を想定しているのか伺います。  
又、商品は加工品の販売も想定しているのか伺います。  
併せて、その開発の目途について伺います。
- (4) サーファーや釣り客の現状の来訪者数を伺います。又、施設の営業により増加する今後の来訪者数の見込みを伺います。  
漁業とレジャー振興を両立とありますが、サーファーや釣り客以外にはどのようなレジャーを想定しているのか伺います。  
併せて、漁業者の理解は得られているのか伺います。そのレジャー客の誘客見込み人数と経済効果を伺います。
- (5) アクセス道路の改善とありますが、その具体的な事業計画を伺います。
- (6) 国道 150 号線を一日 16,000 台の通行量とありますが、通行車両の施設への誘導・誘致方法を伺います。  
又、目標誘導車両数及び誘客数を伺います。  
併せて、駐車可能台数とのバランスを伺います。
- (7) 来場者のリピート率を上げるための具体的な方策を伺います。
- (8) タワー兼風力発電施設の設計、建設の具体的な発注企業名を伺います。  
又、その企業のこれまでの実績を伺います。
- (9) 施設管理、運営の事業主体の受託企業を伺います。

- (10) 飲食、販売テナントの出店企業の目途はあるのか伺います。  
又、企業の出店についての反応を伺います。  
併せて、出店企業の今後の見通しを伺います。
- (11) 食の拠点づくり構想で、既存する先進地の具体的イメージ、及びその具体的な施設はどこか伺います。  
又、その先進地の具体的な実績を伺います。  
併せて、今回の事業に先行例をどのように生かすのか伺います。
- (12) 農産物と海産物とのコラボにより、農家レストランの併設等、オール磐田産品の発信拠点としての考えを伺います。  
又、既存の市内レストランや食堂のシェフやコックさんと協力し、新メニューの開発等、磐田オリジナルの食文化の創造に寄与する施設として、あるいは農家の6次産業化の挑戦への第一歩として活用すべきと思いますが見解を伺います。
- (13) コンセプトに「海辺の特徴を活かした食・レジャーの魅力発信基地」とあります。魅力を発信する基地。ワクワクするような気持ちを常に人々に抱かせ、魅力を発信し続ける仕掛けが必要となります。この為、年間12回のイベントを計画していますが、このイベントの具体的計画の策定、及びプロデュースを伺います。

## 2 2020東京オリンピックのキャンプ地誘致について

- (1) 2020年東京オリンピックにおいて、本市がキャンプ地としての必要なインフラを伺います。  
又、本市はそのインフラが整っているのか伺います。  
併せて、今後本市が必要なインフラ整備があれば、その考えを伺います。
- (2) 各国・各競技がキャンプ地として国内の様々な場所を選定すると思われませんが、本市はどのような競技のキャンプ地として適しているのか、あるいは招致していく競技の見解を伺います。

- (3) 平成25年度における訪日外国人が1,000万人を超えました。特にアジアよりの訪日が増えていますが、東京オリンピックのキャンプ地誘致を契機に、本市への日本人・外国人観光客、特にアジアの方たちの誘客を促し、インバウンドの消費経済効果を狙い、市内企業の収益に寄与し活性化の一助とすべきと思いますが見解を伺います。
- (4) 東京五輪招致活動の最終プレゼンテーションで滝川クリステルさんがお・も・て・な・し と表現し日本人の持つホスピタリティを表しましたが、本市の市民がお・も・て・な・し の心をもってボランティアや会場で選手と接することができれば、2002サッカーワールドカップ日韓大会で、カメルーン代表を招いた大分県中津江村のように世界に発信できると思います。又、世界のトップアスリートが本市でキャンプをすることは、子供達の夢を育み、市民が世界を体感できる素晴らしいイベントになると思いますが、キャンプ地への立候補の意思及び意気込みを伺います。

### 3 国家戦略特区について

- (1) 国家戦略特区について、本市の基本的な考え方を伺う。
- (2) 現状において特区について具体的な構想はあるのか伺う。併せて、今後構想を実行・実現する考えがあるのか伺う。
- (3) 成長戦略の中で「できるか、できないか」ではなくて、「やるか、やらないか」ではないか。と安倍総理がスピーチしています。国家戦略特区構想は、有効求人倍率0.79倍の本市の今後の発展・成長に、必要不可欠な構想だと思いますが、見解を伺う。